

議会報告会・意見交換会記録（第11回）

1 日 時 平成31年4月16日（火） 午後 7時00分 開会

2 場 所 妙高高原保健センター

3 出席委員 11名

議 長 植 木 茂
総務文教委員 佐藤 栄 一
総務文教委員 村 越 洋 一
建設厚生委員 関 根 正 明
建設厚生委員 山 川 香 一
産業経済委員 高 田 保 則

産業経済委員 小 嶋 正 彰
議 員 宮 澤 一 照
" 阿 部 幸 夫
" 八 木 清 美
" 小 嶋 正 彰

4 欠席委員 0名

5 市民出席者 10名

6 事務局員 2名

局 長 築 田 和 志

主 査 道 下 啓 子

7 件 名

議会報告会・意見交換会

- 1) 開 会
- 2) あいさつ 議会報告
- 3) 意見交換 「観光と妙高高原駅前の活性化について」「農業・鳥獣対策について」
- 4) 閉会あいさつ
- 5) 閉 会

1. 開 会

○司会（樗沢諭） こんにちは。お世話になります。皆さん本日は大変お忙しい中、また、お疲れの所お集まりいただきまして本当にありがとうございます。本日の司会進行を務めさせていただきます。よろしくお願いたします。当妙高市議会におきましては、平成27年度に議会基本条例に基づいて開かれた議会また、議会の見える化ということで議会報告会、意見交換会を開催しております。本年はですね、この妙高高原の地域からスタートしまして3日間行っていただくということになります。最初にですね、本日の役員体制についてですねお話させていただきます。担当議員6名と、また、運営補助として6人のかたがですね、いろいろ役員に就いております。最初に担当議員の6名の自己紹介を各々一人ずつお願い申し上げます。

○総務文教委員（佐藤栄一） 皆さんこんにちは、佐藤栄一でございます。総務文教委員会所管しております。よろしくお願いたします。

○総務文教委員（村越洋一） 皆さん、こんにちは、総務文教委員会所管しております村越洋一です。どうぞよろしくお願いたします。

○産業経済委員長（小嶋正彰） こんにちは、産業経済委員長を拝命しております、小嶋正彰です。どうぞよろしくお

願いいたします。

- 産業経済委員（高田保則）　こんばんは、産業経済委員の高田保則です。よろしくお願いいたします。
- 建設厚生委員（関根正明）　こんばんは、建設厚生委員の関根と申します。よろしくお願いいたします。
- 建設厚生委員（山川香一）　こんばんは、皆様ご苦労さまでございます。私は建設厚生委員の山川香一であります。よろしくお願いいたします。
- 司会（樗沢諭）　ありがとうございました。この議会報告会・意見交換会につきましては、後日ですね、会議録を作成しております。それに当たりまして、参加者の皆さんの個人名は公開されませんが、質疑や意見交換における皆さんの議員の発言また、この会場の写真等については、妙高市議会だよりに掲載するというのでございます。また、会議録としてホームページにも公開させていただきますのでご承知おきください。また、質疑や意見交換で発言される場合には、最初に発言の前にお住まいの地区とお名前を言ってから発言いただきますようによろしく願ひ申し上げます。また、受付でお配りしましたアンケートにつきましては、この会が終わりましたら提出をお願いいたします。それでは只今から議会報告会・意見交換会を開会いたします。お手元に配布させていただきましたレジメに沿って進めさせていただきますのでよろしくお願いいたします。

2. あいさつ 議会報告

- 司会（樗沢諭）　はじめに、植木議長より御挨拶並びに議会報告をお願いします。
- 議長（植木茂）　皆さんこんばんは、議長を務めさせていただいております植木でございます。今日はよろしくお願いいたします。私の方から、本日大変お忙しい中、このように多くの皆様方からご出席いただきまして、議会報告会・意見交換会が出来ます事大変うれしく思っております。よろしくお願いいたします。まずは市民の皆さんに議会における取組について知っていただくとともに、市民の皆さんとの情報の共有、意見交換の機会を設けさせていただいております。皆様より頂いた意見を市長または執行部に伝えるだけでなく、議会の活動に繋げて参りたいと思っております。これからはまちづくりの政策決定過程の市民の参加が重要になってくると思っております。最良の妙高市へ導くため妙高市の皆様方の意見を議会として政策定義につなげていく所存でございますのでよろしくお願いいたします。是非とも忌憚のない意見をお聞かせいただきたいと思っております。それでは3月定例議会で審議いたしました、平成31年の予算、主要事業の概要や質疑等について、簡単に私の方から説明させていただきます。皆様方のお手元にA3の資料があると思います。中には1枚ものの妙高市の現状、人口の推移、世帯数の推移とあり、もう片面は平成31年度予算や市の借金、貯金の資料となっております。参考資料ですが、あとで見てください。見開きの平成31年度予算・主要事業の概要ををご覧くださいと思います。市長からは平成31年度大きく五つの方針により取り組むとの説明がございました。方針1としましては「安心して子供を育み暮らし続けられるまちづくりの推進」、方針2としまして「地域資源を活かした交流人口の拡大」、方針3としまして「安心して生活できる健康長寿のまちづくりの推進」、方針4としまして「支え合う地域協働のまちづくりの推進の整備」、方針5として「未来へつなぐ持続可能な地域基盤の整備」の5つの方針であります。常に時代の先を見据え効果的な事業執行に努めていくとの説明がありました。妙高高原地域に関しては、一つ取り上げますと、方針2の、地域資源を活かした交流人口の拡大において妙高高原ビジターセンターの改築に併せて「いもり池」「来訪者用の駐車場」等を拡大するため、施設周辺の民有地の購入を行うため、16,642,000円の予算が計上されました。また、常任委員会での予算審議の質疑において、妙高山・火打山への入域料の本格導入に向けた社会実験の実施について、質疑したものを報告します。委員から妙高山・火打山の入域料の本格導入に向けた検討について、徴収のための経費等はどのように考察されているかとの質疑に対し、環境生活課長は、徴収員に掛かる経費は約320万円程度と想定してい

るが、その配置についても実験する予定である。との答弁がなされました。この他にも、予算が有効に使われ、市民生活の向上につながるよう多くの質疑等を行ってまいりました。時間の都合もございますので、以上であいさつ、また、議会報告とさせていただきます。今日は、よろしくお願いいたします。

○司会（樗沢諭） それでは次に意見交換会に入らせていただきたいと思います。今回は会場ごとにテーマを設定させていただきました。今回のこちらの会場のテーマは、正面に書いてあります、テーマでございます。2点ございます。「観光と妙高高原駅前の活性化について」と「農業・鳥獣対策について」大まかにはこの2点でございますけれども、この他に日頃思っていることやご意見のあるかたについては、挙手をお願いしまして、マイクをお持ちしますので、ご発言のほどお願いいたします。多くの時間がございますので、ゆっくりと肩の荷を下ろして対応していただければと思いますので議員の皆様もそのようにお願いいたします。それではご意見を伺いたいと思います。よろしくお願いいたします。

○市内男性A ○○の○○と申します。よろしくお願いいたします。議員の皆様には毎日ご苦勞様です。言いだしっぺとして1・2お願いしたいと思います。1点は合併前に、多分平成15年くらいにできたと思うんですが、当時県の平山知事の肝いりで、広域行政の中で私ども新井頸南で理想プランというものを作りました。その理想プランの根幹は、観光・文化・芸術と歴史とを中心とした妙高山まるごと博物館構想という立派な冊子が出来ているはずでございます。それに基づいて事業を展開するかと言うときにちょうど合併になった訳でございます、その時の5市町村では県から1億円、頸南5市町村で9億円で10億円の基金を基にその事業を展開するというので、最初はそこにお10億の果実で、各板倉町から始まりまして、大きな看板等を整備した経過がございます。いよいよ合併と言う話が出てきた時に、どうするかということで、板倉町と中郷村が上越につくということで、3億円を拠出したわけです。残り7億のうち6億と県の1億が入って7億の基金があった訳です。その時の平山知事の中では、いま十日町でやっています大地の芸術祭と同じスタンスでやっていると思うんですが、もしこの事業等を展開しない場合には1億円は県へ返しなさいということだったんです。ですから、それと同時に合併になってしまって、その7億という基金がそのまま妙高市に入ったわけでございます。その後を見ていると何の展開も無い、もっと突き詰めれば仮にその7億の内の中郷さんと板倉さんに3億円を持たせてやったということを考えると、当時合併の時の繰越金の持ち合いがありまして、それは十分クリアしていますから、本来旧合併前の事であるとすればその分を戻さなきゃいけないような展開もあるんじゃないかという気がするわけでございます。その後、山川議員が聞きに来られたんで、その質問をされたそうですが、その返答と言うのはその基金から4億円は流用していますと、ただし、金利は払っていますというのが執行者側の答弁だったそうです。2年前ですが宮澤一照議員もこの質問をされているということで通告されたんですが担当の係が来て、この質問はしないでくれと言われたんです。残念ながら宮澤議員もだらしがなく質問しなかったわけでございます。そういう事があって基金の問題に入ってくるわけでございますけれども、新潟市でも333億円の基金があったのが10年で33億円になっている訳です。いろいろ予算書・決算書を見てもなかなか基金の説明が無い。それから、結局はその中身がどうなっているのか、あるいは最近ではふるさと納税が非常に話題になって、その返戻品の問題も出ているけども、妙高市においては何のあれも議場でやっているような様子も見えない。そんなことからして、今回特に観光という部分で、この基金の行く末はどうなるのか、私ども全然知らないものですから、丁度今日いい機会かなと思って出てまいりまして、質問させていただきました。

2点目は、最近赤倉を中心に外国のかたが相当施設を買っております。市の一番の財源は固定資産税ですけども、この固定資産税の納め具合とか、ちゃんとされているのか、一番心配するのはコミュニティーの問題、あるいは税金の問題、良い時だけ営業されてオーストラリアへ帰って、それは徴収には多分行けないはずですけども、そういうもののホントにやらなきゃいけないわけですけども妙高市としてどう考えておられるのか。結局コミュニテ

イーが壊れていくとなると非常に私は問題があると思っています。それに付随しまして、今DMOが立ち上がったと聞いております。会員がどんどん減っていく中で、このDMOというのは公のお金、多分市で相当なお金を出す覚悟でないとDMOは運営できないと思います。その中で外国人なりその人たちが観光協会的なものに入らないでやるとすると非常に先行きが不透明、私は個人的にはDMOには参加したくないと思っています。そういうことから、中にはもう過去の観光協会がコジンマリやりたいというところも出ているみたいですが、この辺もこれからの観光に大きな問題が出て来るんじゃないかなというふうに思っております。長くなりましたが、そんなことを皆さんに何かいい意見がありましたらお願いしたいと思っています。

○司会（樗沢諭） ありがとうございます。

いまほど多くの質問がありました。私なりに整理をさせていただきますと、1点目は基金の問題、中郷と板倉について振り分けたお金の残りの事についてどのようになっているかということでございますが、これは総務文教委員会が答える範囲だということでお願いします。

○総務文教委員（佐藤栄一） 相当前の話でございまして、理想プランという言葉も久しぶりに聞かせていただきました。当時本当に文化関係の方でもこのお金を使っているんな事業をさせていただいたのを覚えておりますが、その後の基金につきましては、私どもでもあまり把握していないので勉強不足だと思います。これを良く調べましてもう一度また答弁をさせていただきたいと思います。併せて次に基金の話も出させていただきましたが、お手元の資料の方に基金の推移というのが載っております。ご覧の通り平成17年の合併当時からみると約15億ほど減ってはいるんですが、なかなか減らないのは現実でございます。減らないのは理由があると思います。これはいろんな事業を行うときに必ず借金をしながらやっていく、そして国からの補助金をいただいてその補助金分を一旦地元で借金をしていくという、後で交付税で算入される部分も含まれている訳でございまして、事業をやればなかなかこういった借金は減っていかないのが現実ではないかと思っていますが、今のところ健全ではないかなと思っています。併せてこれは一般会計だけなんですけど、もう一つ企業会計というのがございまして、ガス・水道・下水道、そちらのほうも実は借金があるわけですが、これにつきましては、大幅に減って来ておりました。が、今年浄水場を建替えましたので若干増えてきてしまっているのが現実だと思います。このように市のインフラ整備それから街づくりに関してはどうしても皆様方の要望を応えていくためには借金が減らない部分が出てきてしまうというのが現実だと思っています。できるだけ厳しくならないようにやっていかなきゃいけないなと思っています。

○司会（樗沢諭） ありがとうございます。

今、ご質問された〇〇さんも佐藤議員さんもベテランでございますので、意見交換会ですので少し深めて議論したいというふうに考えておられると思います。今の件について回答に対して何か。

○市内男性A はい、一つですね、平山知事と約束をした1億円、事業をしなければ県へ返すということになっているんです。これを今後県の監査委員会なりどういうふうに考えておられるのか、それを妙高市が黙って使ったとすれば、それまたおかしな話ではないかなと思うんです。ですからその辺も含めて議員の皆さんと検討していただきたい。それから先日の広報を見てますと健全財政と言っておりますけども、決して健全じゃないです、変わってないですね。・あくまでも3割自治は変わってないですよ。繰入金金の4.1%足して何とか36%位になっているけども、実際は違うんだと思っています。それで、職員の皆さんの給料の関係まあ全国平均、全国1,788位ですか、それから特別区入れるとちょっと多くなりますけど、まあワーストの方から見ると412～3番目なんです。市の職員の給料。この辺で言うとな野沢温泉より20万位平均でいいくらいなもので、ですから財政がいいとかあんまり違うんじゃないかなと。全国から見ればという話でしょうけども、決して私ども経験ありますけど健全財政でないっていう事、やっぱり逆に言えば市民の皆さんにこういう状況だから何とかしてくれとか、一方ではどんどん箱モノが出来ますか

ら皆さん期待しているんですよ。交付税にはそれ補助金算入されますから今で65億くらいですか、これが今度運営費というのは補助金出ませんから、過去の過疎債と一緒にどんどん小さな村は作って、後はどうにもならなくなつたわけですから、この辺も含めてここやはり議会の皆さんが精査されて土俵の上でしっかり相撲をとってもらいたいとこの様に思っています。

○司会（樗沢諭） はい、ただ今のご意見はご意見としてうかがっておきます。

○市内男性A はい、いいですよ。

○司会（樗沢諭） 次に2点目の質問に関して、固定資産税の納税の心配があるのではという、これは外国人のみならず、観光関係の宿泊業者の皆さんも滞納があるとゆう状況も議員把握して質問しておりますけども、これについては、総務文教委員会でお願ひします。

○総務文教委員（佐藤栄一） えー、集中攻撃に遭っていますが、妙高市、滞納が確かにございます。一時大型観光施設が万歳をした後、ずっと累積で大きな滞納が増えまして、それまで県内トップの収納率だったのが一気に最下位という状況になりましたが、再開されたお蔭で一部入ってきましてその分ではホットしているところですが、あとまだ滞納というのは厳しい状況ではないかなと思つてます。特に多いのは固定資産税の収納割合が悪いというのが現実でございます。市民の一般の方々の所得に関する税金に関してはしっかりと納めてもらっているなど思つておりますので、事業系というか固定資産税そういったものをしっかりと集めていかなきゃいけないと思います。今、一生懸命市民税務課の皆さん、それから徴収機構を使ってできるだけ集めようと頑張っておりますし、その効果は少しずつ出てきているのではないかなというふうに思っています。何しろ納めるべきものは納めていただかないと妙高市自身の事業ができないということになっていきますんで、その辺よろしくお願ひしたいと思つています。

○司会（樗沢諭） これについて再質問あります。

○市内男性A 外国のかたの優遇税制っていうのはあるんですか。それと、この間ある方が外国人に対しては何年か猶予があるというような話もしていたが、そんなはずはないと私言つたんです。それと、合併前にいろいろ協議した時に今、現市長から旧妙高高原も累積の未納がありましたから滞納の問題につきましては厳しく言われました。「町長さん、こんなものなんとかしなきゃ駄目だよ」って言われた。その時私が言つた言葉は、大手スキー場開発も、いずれこうなりますよ。一か所で2億5千万当時、ですから10年で25億です。そんな話をしたんですけど、結局は合併をして、結果としてですね、いろんな条件が変わってまいりましたけども、本題の外国人が買った施設、これは徴税になんか行けないと思いますよ。オーストラリアまで、そんなとこまで。飛行機代も出ないですよ。ですから、いまキチットその辺を皆さんで研究されて、新しく買う方も売る方もちゃんとそれをわきまえて、コミュニティーをしっかり引き継いでもらわないと住民の皆さんが困るんですね。ですからうちの旧妙高高原町も厚生福利ということで寮とか多くできました。そのためにガスの供給あるいは水道の供給ということで、それに合わせた整備をしちゃつたということで、その方たちはどんどん、たたんで出ていつちやつた、しわ寄せは皆町民に来るわけですから、それも踏まえて今の問題も皆さんのほうで知恵を絞つていただきたいとこんなふうに思っています。あともう意見ありません。

○司会（樗沢諭） それでは、ご意見として伺つておきます。3点目のDMOについてのご質問がありました。観光関係の方はお金を出さないんじゃないか。このような厳しいご意見もございました。産経のほうでご答弁願ひします。

○産業経済委員委員長（小嶋正彰） はい、小嶋です。よろしくお願ひいたします。

まずその前に、外国人観光客の入込みについてですが、非常に多くなって来ている。手元のデータでは、2015年が37,000人、2017年では55,000人泊となっています。去年から今年に比べますと30%位アップしているというように聞いております。正確な数字はまだ出ていないということですので、その位だと思つたんですけど、いずれにしても

外国からのお客様が非常に増えているというか日本人のスキーのお客様は大幅に減少している、これから世代をこえた若い人たちが来るんじゃないかという期待をしております。またそれは、手を打たなきゃいけないと思うんですが、いずれにしても今の段階では外国からのお客様に期待するよりしょうがないんじゃないかなというふうに思っております。そういった観点から見ますと、市の観光協会も3月で解散したということもお聞きしています。DMOにつきましては、国の認定も受けている訳ですが、やはり観光事業者の皆様が本当に努力しておられるんですけども、それにプラスして、地域全体で地域を活性化していくその一つの大きな手段として観光がある。いう捉え方が必要ではないかなと思います。そういった意味ではDMO、商工会の皆さん、農業関係、グリーンツーリズム、広域観光、そういったものを含めてオーストラリアのほうに商談会に行くとか、あるいは夏場の台湾、香港、シンガポール、そういったお客さんを増やすような営業をしていくというような戦略を持っていると聞いています。なかなか先行き不透明な部分では多くありますし、流行っていいんでしょうか、どうしても外国のかたこっちは駄目ならず向うへ行くというようなことで、非常に流動性が高いというふうにも聞いております。私もロッテアライリゾートの地元の集落でございまして、それは目に見えているなと思っております。これから難しい時代ではあると思うんですけど、地域一丸となって観光行政、観光施策をやっつけていかなきゃいけないんだなと、私も農家民宿をやっているんですが、台湾とか香港からお客さん来られていますけど、そういったことで全体で地域の魅力をアップするという視点が必要なんじゃないかなと、私はそういうふうに思っています。DMOにつきましても色々問題を抱えているのは事実でございますが、組織的な問題それからやっぱり一番大事なものは人材だと思うんですね、それにキチット対応できるような人材をどう確保するか。ここが問題だと思っておりますけど、これからの活動に期待したいなと思っております。

○司会（樗沢諭） よろしいですか。

○市内男性A 戦略、私これから文化度が高くなければ人は集まらないと思います。はっきり言って。学歴も高学歴になって来ていますし、日本は日本らしい文化をきちっと持つということがインバウンドに対しても大事だと私は思っています。我々も商売していますけども、商売は私は一生懸命真面目にやるしかないんですね。一方で皆さん方のような市を上げていこうんな手助けをしてもらえる自分の事は自分でやる、自分でできないことは組合なり協会なりで皆でやろうとか、そういうふうになっていくんだと思っております。まず、・・・しかないと思っております。

○司会（樗沢諭） はい、ありがとうございます。

○産業経済委員（高田保則） 若干いま委員長が報告しましたけども、私、確かに今DMOってことを、インバウンドが最優先みたいなことで、皆さん印象に持っていると思うんですが、実は違うんですね。DMOの事業の一部としてインバウンドがあるという事で理解しておいた方がいいと思うんですね。というのは、今日本においてになる、というか日本国内の観光総生産量っていいですか総経費、売り上げは24兆円ぐらいあるそうでございますけども、そのうちの僅か4兆円くらいしか外国の人たちの売り上げしかないわけです。残り20兆円くらいは、国内の旅行で売上していることで、その比率はこないだちょっと調べましたら、インバウンドが14.6%、残りの85.4%は国内の旅行者、いうことでございますので、インバウンド非常に国も2020年で4千万人というように掲げていますけど、それはそれとして、凄く素晴らしい計画なんですけども、実際地元としてはそればかり追っついては観光ってのは成り立たないと、やはり国内の皆さんにどのくらいに、おもてなしをするか、国内の人たちをどれだけ呼び込むかっていうのはこれから非常に大事なんじゃないかなと言うふうに思います。割合から言ってそんなような状況ですので、あんまりインバウンド、インバウンドって、わずかに5万人泊ですからね。頭数にすれば何千人の数ですね。ですからそういう事を含めてこれから私どももその辺を勉強していかなきゃいけないし、その辺のデータもキチット取っていかなく

ちゃいけないなというふうに思います。ちょっと蛇足ですが。

○司会（樗沢諭） よろしいでしょうか。

○市内男性A はい。以上です。

○司会（樗沢諭） それでは、皆さんのほうでご意見ございましたら、どうぞ。

○市内男性B ○○の○○ と申します。

去年も参加させていただきましたが、去年答えられなかった事もありましたけれど、3つほど質問させていただきます。第一に国体の収支決算ですね、二番目が議員さんの数が私は多いのではないかという質問と、三番目が本会議場においての事について質問させていただきます。第一に国体なんですけど、収支決算として決算書を見た時に収入の部で9,700万と書いてあったんですね。その内訳が何も書いてなかったんで、その答えと、それと去年質問した時に国体をやったどのくらい税収があったんだと、経済効果があったんだと言ったならば、決算書出ていないんだと、それはそれで構いませんけど、支出の部で約2億3,700万って書いてありました。約補助金が9,700万約1億ですよ、ですからその中で1億3千万位残っているわけですよ。1年間で経済効果があったのかということですよ。それで三番目は私議会本会議行っていつも不思議だったのは報道関係者の所に座っている人がいるんですが、報道関係の会社の腕章誰もしていないんですね。そしたら、私に説明してくれた時には一応議会事務局に行けばそれはいいんだと、私たち一般有権者が本会議場に行った時にそういう人達が座っているときに、どこの家のあちゃんだか、どこの家のかあちゃんだか、ってのは分かんないですよ。有権者から見た時には、だから、私たち有権者から見ても分かるようなことをしてもらいたいと、いうことです。以上です。

○司会（樗沢諭） はい、ありがとうございます。三点ございました。一点目は国体の収支の関係について、総文担当でございますので、総文。

○総務文教委員（村越洋一） 村越でございます。よろしくお願いいたします。

前回の時にこちらの議会報告会の時にご質問頂きました。その後9月の決算議会の時にそういった報告があつて、議会としても質問を投げかけた訳なんですけど、回答としては正確な集計がなかなかできないと数字的にですね、そういった中で訪れたかたの人数として妙高高原駅ですね、国体の案内所を設置して、その期間中に訪れたかたとして82名というふうな数が出ています。それから経済効果についてなんですけれども、これについても詳細な細かい数字っていうのはなかなか出しにくい状況にあるんですけど、選手・役員そういった宿泊、施設、少なくとも5億円以上の経済効果があるというふうな報告がありました。それと加えてそれに諸々ある食事であるとか移動に関するガソリンであるとか、そういったものも含めればもう少し数字的には多くなるというふうに把握しておりますけれども、なにせ正確には出てこないというところがございます。ただ、大ざっぱなところではありますけれども、今のよう数字がご報告できるというふうに思います。

○市内男性B 収入の部はどっから出ているんですか。

○総務文教委員（村越洋一） 収入の部っていうのはどういった項目になるかちょっとあの・・・

○市内男性B 補助金として明記してあったんですが、どこから出たのかっていうことはなかったんです、決算書には、
ですから。

○総務文教委員（村越洋一） 私お答えさせていただきます。県から出ています。

○市内男性B 総額県からと言う解釈でいいんですね。

○総務文教委員（村越洋一） はい。

○市内男性B あと三番目の報道関係者が大事なのか一般有権者が大事なのかということ聞きたいんです。

○司会（樗沢諭） はい、この質問の答えについては、○議長ないし議会事務局が好ましいと思うんですけど、

- 市内男性B その前に私の意見からすると、9月の本会議に行って議長から傍聴席静かにしてくださいと言われた人間の一人です。
- 議長（植木 茂） 今ほどの答えになるかどうか分かりませんが、議場における腕章につきましては事務局のほうに届け出があれば議場の中においても腕章を付けないで良いという形となっておりますので、特段付けていないからいけないとか、そういう形にはなっておりません。また、議場の中において注意されたということですが、たまたま議場の中でちょっと声が聞こえたということで、注意というか私語を慎んでくださいという形で私は通告したことはあると思いますが、なるべく傍聴席につきましては静かに聞いていただきたいというのが我々の考えでございます。
- 市内男性B ですから、報道関係者がこちらから見て判断できないんですね。ですからこの報道関係なのかっていうのは私たち有権者から見て分かるようにもしてもらいたい。私はそういう事を議場の受付のかたにも言いたけれど、私の意見は有権者が大事なのか報道関係が大事なのかどちらですか。答えられなければ答えられなくても私は結構です。
- 司会（樗沢諭） はい、その答えにつきましては、ご意見として伺っております。どちらが大事だという結論をここで話すことはちょっと難しいかなと私は考えております。
- 市内男性B 私は有権者のほうが大事だと思います。
- 司会（樗沢諭） はい、そういう点につきましては、また、議運等で検討させていただきたいと思います。それでよろしいでしょうかね。
- 市内男性B なら、いつも去年もあなたが言ったように、議員さんが言ったように。意見を聞きに来ました。聞きまして終わっているんです。それからINGがついていないんです。動きが無いってことです。あと二番目に対しては、議員定数私の資料からいくと、同じくらいの有権者数で議員数がうちの市は18人です。実際的な所言いますと、年度初めに行われました胎内市では、同じくらいの有権者数で有権者数が少ないのに16なんですね。今、〇〇さんが先程言ったように、そんなに財政がいいわけではないので切りつめられるところから切りつめた方がいいのではないですかと言うことです。それとあと、ラスパイレスなんです、平均値辺りでうちの市はどのくらいなんですか。数字は、ラスパイレスは。
- 司会（樗沢諭） 最初にですね、二つ応えられればあれですけど、議員定数のこと、それから議員・・・の決めるにあたってどういうパターンになっているかを佐藤議員さんのほうからお願いいたします。それと後半の部分も分かったら。
- 総務文教委員（佐藤栄一） 合併当時から話しますと、3市で50人の議員がおりました。それが段階的に減ってまいりまして、今は18人まで人数が減ったところでございます。そうやって見ますと非常に大きく減っていることは確かです。いま、胎内市が16人とお聞きしましたけれども我々の手帳には18人って書いてあるんで、その辺は調べさせていただきたいと思いますが、18人でもかなり精一杯、これだけの広い面積の市を見ていくのは大変だなと、実は私どもも感じているところでございますし、もっともっと勉強して人数少なくてもできるエキスパートになればいいと思うんですが、なかなか力不足のところもあるんだと思いますが、できるだけ頑張っていきたいなと思っております。ラスパイレス指数につきましては多分90%位だと思います。
- 司会（樗沢諭） はい、ありがとうございます。皆さんのほうでございませうか。
- 市内男性B あと数字的なことだけだと思うんですが、いわゆる外人さんが来た数、平成17年度で5万人と今数字言いましたけれど、2月7日NHKの妙高ウィークリーで言った時の数字は17年度、3万5000という数字が出ておりましたけど、その数字に対しての違いはどこにあるんですか。

○産業経済委員長（小嶋正彰） 調査機関によってですね、色々取り方ってのが難しい部分があると思っています。今私が申し上げたのが、妙高市が地方創生の関係で三菱総合研究所にこういった研究の委託をしております。その数字で申し上げました。このほかにですね、例えば県の観光統計だとか、いろんな捉え方があるんですね。なかなか旅館業をやられておられる皆様方の聞き取り調査のやり方だとか、どこでどういうふうに捉えるかは非常に難しい部分があって、全体の傾向を捉えると、具体的に例えば5万5000と言いましたけども、ここの数字では5万5658人となっておりますけども、本当にそうなのかという部分については、なかなか検証が難しい部分があります。ですから、こういう施策を考えるときには、どういう傾向があって、どの程度のところをやればいいのかというのを捉える。そういった数字ということで御理解いただければというふうに思っております。

○市内男性B ですからあまりにもNHKの言ったことが3万5000という数字を出しているわけですよね。だから、NHKもただ単にNHKの調べではなくて、市からの資料も出ていると思いますが違うんですか。

○建設厚生委員（関根正明） すみません。3万5000というのは多分、信越アライアンスという妙高、妙高市、野沢温泉、白馬、志賀でアライアンスを組んでるんです。その経由の人数が3万5000だと思います。そのほかに、最近ではブッキングドットコムだとか、エクスペリアとか直に入ってくるエージェントがかなり入ってますんで、それが2万以上居ると思います。それは旅館の個々の人数ですので、なかなか実態と教えてくれないのが今現状なんで、正式な数は、信越アライアンスというのはすぐわかる数字なんでそれが今、3万5000人。それがずっとここ何年から3万人から3万5000人で推移してると思います。それ以上にブッキングドットコムというのが一番多いですけど、その辺がかなりふえておりますので5万5000人くらいが正解の数字だと思います。ただ、NHKに行ったのは信越アライアンスの数だと思います。以上です。

○司会（樽沢諭） 続いて、皆さんのほうでいかがでしょうか。できれば一点ないし、二点にまとめて質問していただけるとありがたいです。

○市内男性C マイクはいいです。私もこれから雪消えると畑が始まります。私の経験と地域の皆さんの落胆の声をね、聞いていただいて市のほうへも話してあります。私はとんでもない話したら、市に怒られちゃったんですが、実は私妙高温泉区の区長やってるときにサルが大移動してきました、妙高温泉街にまで入ってきました。八百屋に売ってるものまで抱いて逃げるといような状態が続きました。昨年もありました。一つは、大体高齢の方が百姓してるんです。百姓して、取ろうと思った前に日にやられちゃうようなことが非常に多いんです。これは、生きがいを取られちゃうもんですから、もう来年からつくらんわいとかいうことになっちゃう。つくったものは人にあげたりなんかして、自分の生きがいとして生きてるんですね。私も実は被害に遭ってるんです。毎年遭ってるんです。市から電気柵というのを借りて、電気柵を入れてようやくサルに荒らさんないようになってきたんですけど、まだまだやられてます。このサルの軍団は、徐々に下へ下がって行きます。今関川の大田切橋というのがあるんですけど、旧妙高と妙高高原の間に。あそこからこっちが、大部分の被害あって、いよいよ今年あたりから向こうへ入っていくんじゃないでしょうかね。旧関山地区へ入ると、原通だというあたりに、この妙高高原なんてもんじゃないうまいもんがいっぱいあるわけですよ。だからやんども動いたら大変だろうと思うんです。実は私、農業の市の担当のほうへ御邪魔しまして、この近くに自衛隊いるじゃないか。自衛隊の訓練を兼ねて、各サルの集団に一斉射撃をやってもらいたい。ただ、〇〇さんそんなことやって、大変なことだよって言われたんですけども、何らかの方法がないのか、議会の皆さんから市のほうとの調整をですね、お願いできればと思うんですよ。電気柵すると彼らも覚えていて、電気入れなくても柵を張って、線を張っておくと寄り付きません。すごく恐ろしいのは女の人を馬鹿にして、いわゆる攻撃掛けます。男はにらみますけど、私もにらましたとき、怖かったんですけど、何かを持つと逃げていきます。必ず何匹かの中に子どもを背負ったのいますよ。それが今、毎日妙高高原の無線で3団体

居るんですよ。大体1団体100匹前後。ですから、300匹くらいが動いてるんです。今集中射撃するに最高なんです。というのは、連中林の中にもまとまっていますからわかるんです。木が茂ってくると、どこにいるかわからないんです。今一番わかるんです。その集中攻撃は無理にしても、話聞いてますと攻撃はできないけれども、一年に10匹前後は始末してるような話は聞いてるんです。これから、最も農業の盛んだと言われる妙高地域、新井地域へ入っていくと思われまますので、その前に何とか彼らの進出を食い止めたらどんなもんかと。これは私の提案です。小嶋委員長よろしくをお願いします。

○司会（樗沢諭） 両方とも委員会が担当するんで、どちらでも結構です。

○産業経済委員長（小嶋正彰） 農作物の関係のほうから。本当にね、サル、大変だなとか、知恵比べだなというふうに思っております。今、〇〇さんおっしゃられたように、三つのグループがあって、それにそれぞれテレメトリ一付けて、大体のところは位置がわかるようになっていて。それを協議会でですかね。3団体あるんですけど、そちらのほうにより詳しい位置が知れるアンテナを持っていただいて、そっち行ったよというときには、待ち構えていて、ロケット花火だとかそういったので追い払うという対策を主にやっていると。電気柵も本当に市の補助金やなんかもですね、国の補助金、市の補助金やってるんですけども、なかなか設置をする。撤去をする。管理をする。本当に農家の皆さんの御苦労されているなというふうに思っております。やはりですね、御指摘のように数を減らすというのが一番だろうと、これはサルに限らずイノシシもそうですし。去年はですね、平成30年ですけど、サル捕獲枠11機、杉野沢、兼又、蔵々、関川その辺に付けてですね、22匹捕獲して処分をしたそうです。29年も22、その前は、28年も12。大体このくらい。だけども、それ以上にふえてるじゃないかというような気がいたします。なかなか、駆除するというのは、狩猟の免許。銃法の許可。色々ハードルが高い部分であります。何よりも人がいないという、駆除して下さる方が不足しているというようなこともありますので、色々習性を知る学習会をしてくださいとか、或いは、免許取るときの補助をすとかですね。補助と言っても手数料の補助とかそういった金額になってしまうんですけども、そういった手を尽くしているといふふうに聞いております。なかなか大変だと思うんですけども、これは自衛するほかにしょうがないのかなというふうに思っております。ぜひ、御協力いただければと思っております。

○市内男性C ありがとうございます。

○司会（樗沢諭） よろしいですかね。自衛隊の話はなしですか。それはちょっと厳しい問題だと思いますので。そのほか皆さんのほうでよろしいでしょうか。

〔「ちょっと関連ですが」と呼ぶ者あり〕

○市内男性D 〇〇の〇〇と言います。よろしくをお願いします。今、〇〇さんほうからサルの話が出たんですが、冬の間はそれほど動きはないようなんですが、私は川街道線。苗名滝、流しそうめんまでの道路を結構散歩で歩いてるんですが、たまたま三日ぐらい前ですかね。あっこのかなりサルの群れがおりまして、猟友会の皆さんに連絡を取って、そしたらすぐに対応していただいたんですが、なかなか先ほどから出ておりますけども、簡単に鉄砲の音をさせるのは、非常に難しいということで我々、〇〇さんもいますけども、地元でも対策協議会を発足いたしまして、色々検討を重ねているところなんですけども、サルはなかなか頭がいいもんですから、慣れちゃうとどうにもならないんで、それでも根気負けしないように花火上げたり、電気柵の話もさっき出しましたが、補助事業を有効に活用して、対策をしております。関係各位の御努力のおかげでサルの出没、野菜の被害が非常に2年くらい前から少なくなっているのが実態でございます。非常に電気柵の効果が表れてきてるんじゃないかなと思っております。もう一点はイノシシの話なんですけども、サルはいいんですけど、最近非常にイノシシが田んぼの中に出てきて、かなり田植えの前から田んぼのまわりを荒らしております。このイノシシについてもやはり電気柵、今のところ電気柵で対

応するしかないのかなと思っておりますけども、その辺も含めて地元は地元で一生懸命やっておりますけども、議員の皆さんのほからまた一段と補助金の関係等々検討いただければありがたいなと思っております。それともう一点、きょうのテーマの一点の駅前開発ということで、妙高高原駅前ですか。この話については、数年前から色々意見が出てるんじゃないかと思っておりますけども、なかなか具体的に駅前開発、活性化が進んでいないようにみえるんですが。観光センター、確かにあそこにできましたけども、そのほかに何か具体的な、目に見えるような活性化されているのかどうか、ちょっとその辺をお聞きしたいと思っております。以上です。

○司会（樗沢諭） 二点質問いただきました。サル、プラス、イノシシという話だと思っておりますが、イノシシについてを重点にして、まず答えていただきたいと思っております。

○産業経済委員長（小嶋正彰） イノシシの問題。妙高市全域で大変大きな被害になっております。先ほど駆除した数を申し上げましたけれども、サルは妙高高原地域が中心でございます。イノシシのほうは平成30年に131頭処分したということです。29年も139頭。かなりの数をですね、駆除しているというふうに聞いております。対策としてはですね、やはり電気柵。それもですね、個別にやるんじゃなくて、集落ごととかね、協力しあってやらないとこっちでやってもすぐ隣のほいへとかとなって、被害が分散するということになりますので、やるのであればまとまってやるほうがいいんじゃないか。効果的だというようなことも言われております。それなりにね、管理が難しいものありますので、ぜひお話ありましたけれども補助事業等を活用してですね、お願いしたいというふうに思っております。もう一つはですね、取ったイノシシだとかを利用するという手も考えなきゃいけないんじゃないかなというふうに思います、ジビエ料理だとかですね、いろんな加工だとか、全国各地で進んでおります。また、議会としてもですね、委員会調査だとかそういったところで見えておられるところもありますので、そういったことも含めながら、検討すべきかなというふうに思っております。

○司会（樗沢諭） 次にですね、二点目の駅前についてお願いします。活性化について。

○産業経済委員（高田保則） 駅前活性化は非常に難しい問題です。正直。駅前活性化については、合併直後から活性化プロジェクト、確か2団体、駅前の問題について色々ワークングでやったような気がするんですが、依然として実際実現はしてないですね。これは。と言うのは、最大のと言いますか、行政側の答弁から受ける感覚は、やはりトキ鉄さんとの関係、これがどのぐらい協働で行けるかということが今一番大きな問題だと思うんですね。議会でも出てますし、市民の皆さんからも妙高高原駅、とつてもあんなの使えないと。年寄がね跨線橋渡る高いの使っているということもありますし、先ほどのインバウンドのお客さんもあれだけの大きな荷物をあれだけの急な跨線橋に2階も上がったたり降りたりするのが、非常にナンセンスだという意見出てますけども、それもですね、トキ鉄さんの姿勢にも大きなものがあるんですね。妙高市が自分、市の資産でないもんですから、トキ鉄さんとの協調でどのくらい改修できるかということのをこれから一つの大きな課題だと思います。駅前についてはですね、確かに色々、議論百出で結果、妙高高原観光案内所のほうも出来ましたけども、ようやく今のところ利用客もふえているようでございますし、まあまあ当初予想したよりも多いかなというふうに思います。ただ、駅前の活性化と言いますとね、今ほんとの駅前あれはやっぱり、地主さんの関係もありますし、じゃあ公共施設が何が良かったことになりまして、なかなか議論百出でこれって決め手はないんですけども、これはですね、今の鉄道を利用する観光客さんもすごく減ってますね。ほとんどバス、自家用車ということで、その辺もですね、もう一度宿る、皆さんもその辺も考えていただいて、鉄道を利用するというような方向性のプランも考えていただければありがたいと思っておりますけども、私も相当何年か意見言ってますけども、なかなか駅前活性化、じゃあどうするかと言うと名案はございません。

○市内男性D 大昔みたいだね、どんどんとみんな電車で来るころはよかったんだけど。

○司会（樗沢諭） よろしいでしょうか。皆さんのほうでありましたらどうぞ。テーマ以外でも結構でございますけども、何かございすか。どうぞ。

○市内男性E ○○の○○と申します。私がちょっと皆さんに検討をお願いしたいのはですね、公民館に今電話回線が光ファイバー入ってないんですね。公民館でインターネットが使えない。このアンケート見てもですね、ネットどうだとか、J C Vがと書いてあるんですよ。肝心の公民館でもってそれを利用できないのが実情でございまして、なんとかならんかなと思ってるんですけども、最初に電話線工事する初期投資くらいを何か援助していただけないかなと。そうすると、後月々のもですね、プロバイダーの契約料だとか電話の料金だとかというのは、我々でも十分払って行ける力はあるんですけど、最初の5万円から10万円くらい掛るんでしょうか。工事費のこれがですね、なかなか出所がなくて、いろんな人に話をしてみても御意見がまとまることもなくて、非常に困る問題なんですね、結局そのままになっちゃってるんですけど、何とかそういう助成を、手段があればですね、やっていただけるんなら何とかしましよよという話にもっていけるように思うんです。ちなみに、近在の区のところの様子、大体電話線見るとですね、より線は普通の電話。光ファイバーは一本線ですから、何が入っているか分かるんですけども、田口も毛祝坂もどこも光ファイバー入ってないんで、文化的な状況からは大分遠いかなというふうに思ってるんで、何とか改善していただければと思って、お願いする次第です。以上です。

○司会（樗沢諭） この件につきましては、総文になると思いますので、お願いします。

○総務文教委員（村越洋一） 村越でございます。ITの関係ということで私の前にマイクが来てしまったもので、公民館ならずともですね、やはりこれからの時代というのはインターネットを使っていろんなことを発信したり受信したり、当然外から来た方に対してもそういったものの提供というのが地域だけでなく必要になってくるというふうに考えられていると思うんですね。そういった意味でフリーWi-Fiという形で、地域のどこに居てもインターネットが使える環境を整備するのが本来一番利便性から言っても、安全性から言っても必要なことかなと私自身もそう思いますが、なんせその費用対効果、それに係るいろんな費用をいろいろ考えますとですね、ある程度の妥協点というのが必要なのかなというふうに思います。今ほど御提案ありました公民館にということでもありますけども、そういった意味でも当然そういった支援があつて然るべきかなと思いますけども、その部分はですね、全体的に考えながらですね、全体的な整備が（不明01:12:58）と思ってます。私も議会等で質問させていただいてるのは、まずは公共施設から始めてはどうかということで、公共施設の一番というのは市役所、それから支所ということになると思うんですけど、そういったところにまずは、自由に使えるインターネットを整備してそういったところから提案はさせていただいてるんですけども、なかなかすぐやりましようという形にはなっておりません。ただし、そう言う意味で技術的にも進歩していたりコスト的にも安くなったりそんな中でですね整備が進むようにこれからもそういった要求はしていきたいと思っておりますし、議会もそういうふうに動いているとお考えいただければいいなと思います。

○司会（樗沢諭） よろしいでしょうか。

○市内男性E なるべく早く実現できるように御努力をお願いします。

○司会（樗沢諭） 議会でも検討してますから。補助制度という観点からもですね、検討することも必要だと思いますけども。マイクちょっと具合悪くて申し訳ありませんね。高田委員何かあれですか。

○産業経済委員（高田保則） 私のほうからちょっと質問させていただきたくんですが、先ほどの駅前活性化の問題ということで、私今名案ないということですが、もし皆さんのほうでですね、現状を踏まえて、こういう方法はどうかというものがありましたら、一つ御意見いただけたらありがたいと思うんですがいかがでしょうか。

○市内男性A 御意見より、民営化する前の沿線5市町村で約束した件があるんですよ。それ、上越市長が今の脇野

田の駅を140m動かすということで、単独でJRとやってしまった。本体あそこでいろんな条件付けられたはずなんです。ところが、上越市長だけ先にそれやっちゃって、あと何も言わないということで、本来はあそこが一番大事なことだったんですよ。ですから譲渡する前に、いろんな注文付けて、例えば妙高高原の駅でしたら、エスカレーターなり、エレベーターなり付けるとか色々できたと思うんですが、結局は後手に回ってしまったという。上越市は、単独でああいうことやってしまうんで、合意のときは5市町村だったんです。あれから端を発しているんですけども、今回もちょっと話題になっておりましたように、外国の方がお見えになって大きな荷物持ってくる、高齢の方もいる。私も高齢のほうですけども、聞けば大きなバッグみんな持ってくるんですよ今ね。旅行鞆を。あれが非常にクレームが出るんです。あれをやろうとしたら、随分お金かかるって言うけども、私はそんな問題じゃないような気がしてます。エレベーター付けるのわけないですよ。3人でも5人でもいいんですから。こっちでもとか、あるいは、線路をですね、3本あるわけですよ。ですから、真ん中に通路つくって向こうのほうとトキ鉄と信濃線との同線使って、一本とかっていえば真ん中に通路つくことも可能じゃないかという考えてるんですけど、ただそういうものっていうのはできちゃったあとでは遅いんですよ。その後手に回ったなというのはあります。私も在来線で色々問題やったけども、結局は市も非常に非協力的だと。私は困ってることあれば、細かくですね、共産党でもなんでもいいんじゃないかと。みんなでやろうって言ったけども、なんで岡山は共産党と組んでいるとかいろんな噂立てられましたけど、そういう問題じゃないんですね。ですから、あれが活性化の一つの方法としてはあったのかなと思っておりますし、あといろんなところによっては駅前に保育園もって来たりいろんなことやったり、役所もってきたりとかいろんな発想があるみたいですけど、さっき高田議員おっしゃるように、私有地もあるもんですからとにかく定住人口がふえれば多少は活性化することは間違いないんですけども、定住人口が減るといなかで冬の間は見てますと結構電車で来る人も多いんですけど、駅前も私もしょっちゅう向かい出ますけども、賑やかなんですけどもこれからの問題ですね。名案、名案というけど名案が出ないのが現実だと思います。さっき言いましたように。ですから、酒でも飲みながらいろんなこう、やることも大事でしょうけども、突拍子もない発想もやればいいし、或いはちょっとした美術館とか、ああいうものをつくれれば、結構、今の花見とか相当いい反響ですけど。私は当初野尻湖のまわりにコブシとサクラと紅葉を植える運動をしようとして信濃町の議員さんと。これも残雪の残る山を眺めながら、野尻湖から見えるって最高じゃないかなと。やっぱり連携しなきゃいけないと思うんですね。それは要するに外からの交流人口を呼ぶ方法ですね、一つは。後は定住人口なり、或いは、今一つ残念なのは、飲み食いする場所が段々減っちゃって。反省として役所が一つなくなると、役所があるって大事なことなんですよ。会議やる、色々集まりますから、帰り一杯やろうか、飯を食おうかという話になるんですけど、これが合併の一つのあれだったなというふうに感じております。ですから今ここで、良い策出ませんけど、ただ過去においてそういうのも一つあったということで覚えておいていただきたいと思います。

○産業経済委員（高田保則） 私も駅前活性化のあれで、公共施設、合併してから駅前のいわゆる公共施設というのが段々なくなっちゃったのが一つ駅前のいわゆる活性化にブレーキをかけてるということで私は駅前に観光協会、それから商工会、妙高高原支所、これを近くに集めたらどうかという提案を何度かしたんですが、なかなか予算の関係もありますし出来ないんですが、現状見ますとですね、あの辺の空き地をどうして埋めてけばいいかっていう手立ては、多分市もないと思いますし、私どもも個人の土地までという開発はなかなか難しいんで、ちょっと名案なんていうもんじゃなくて、「迷う」案でもないわけでもない感じで今現実です。

○司会（樗沢諭） 最後にもうお一人からお願いしたいと思います。昨年ですね、意見交換会でいい意見でました。時間押されてましたけど、今ちょっと暗い話が多いんですけど明るい話題で未来を見据えた御意見等ありましたら、明るく終わりたいと思うんですけど、何かございませんでしょうか。短めの質問でも結構です。

- 産業経済委員（高田保則） もう一ついいですか。平成27年3月、32番目の妙高戸隠連山国立公園設置されました。今なかなか市のほうもそれをどう利用して経済効果を上げるかということでやっておりますけども、なかなか環境省との関係もありますし、ないんですが、もし皆さんのほうでこの国立公園が独立したことで非常にものすごく将来的に明るいニュースだと思うんですよね。皆さんのほうで、これはどうだというような何かありましたら、これから私どもの活動の参考にさせていただければと思うんですがいかがでしょうか。
- 市内男性A この夏場のマラソン関係の練習場所としては、非常に皆さん喜んでおります。大体見ていると最後は菅平行くんですね。菅平になぜ行くかという、標高1300くらいありますから。笹ヶ峰でトレーニングどうかと言っても私生活を含めて寝食を一緒にその場所ですて、1300ですてトレーニングをするのが理想なんだから。それ以外では、相当私どもシード校2校くらい来てますけども、ずっと二十何年続いてますけども、笹ヶ峰の上りで法政の青木君てのが、山で何人抜きつての去年もやりましたけども、非常に効果が出たというふうに評価をいただいております。ですから、おかげさんで、スタートからキロメートルの表示をしてもらってますけども、ああいう場所には向いてるけど、泊まる場所としては温泉もあっていいんだけど、1300の高所トレーニングという面からはちょっとというのがありますけども、いずれにしてもああいう学生を取ると、高校、みんなつながるんですよ。後輩へ。ある選手がほかの大学に行ったり、コーチになったり監督になりますから、その継続をしていくということに力点を置きながら、夏場対策というのはやっぱりある程度考えるべきだと思っておりますし、それにはステージはいいステージがある。特に野尻湖の周辺が喜びます。野尻湖周辺15.4キロくらいあるんですかね。ですから車ほとんど通らないのと緑に囲まれている。多分だからいろんなことを研究すると何かいいことがあるかも知れませんが、駅前の活性化とはちょっと違いますけども、とにかく人が来れば何とかいい方向に動く。こんなふうに思っておりますけども。意見として。
- 産業経済委員（高田保則） ありがとうございます。これからの参考にさせていただきます。
- 司会（樗沢諭） ございませんでしょうか。そろそろ時間になってまいりましたので、予定しておりました議会報告会と意見交換につきましてはですね、閉じさせていただきたいと思えます。
- 本日大変ありがとうございました。最後にもお願いがございます。お帰りの際は交通事故等に気を付けてお帰り下さい。なお、お手数ですけどもアンケートを御協力お願いしたいと思います。記入終わりましたら係員が回収しますので、その場においていただければと思います。本日は大変ありがとうございました。

閉会 午後 8時20分